

20220907_情勢資料

- P. 01 はたらく上での不満、「ある」75%：NCCU 調査
(シルバー新報 8/19)
- P. 03 10月から「医療費2割負担」団塊の世代また狙い撃ち！75歳
いじょうの対象者はどんな人？(日刊ゲンダイ 8/26)
- P. 07 「全数把握」見直し、4件が先行届け出、高齢者らに限定運用
(共同通信 8/29)
- P. 08 22年上半期の出生数38万人 初めて40万人を下回り過去最少
(毎日新聞 8/30)
- P. 10 青木香芝市議に出席停止処分 不当懲罰 差し止め提訴
(しんぶん赤旗 8/27)
- P. 11 奈良・香芝 党市議への懲罰問題 地裁 仮差し止め認める
(しんぶん赤旗 9/3)
- P. 12 奈良県香芝市議会9月本会議初日（9月5日）の傍聴報告ととり
あえずのお礼（奈良県生活と健康を守る会連合会9/5）
- P. 13 党市議への懲罰許すな 奈良・香芝 緊急集会に熱気
(しんぶん赤旗9/4)
- P. 14 国費の国庫負担減額措置は全廃を 子どもの医療費助成で全国知
事会議が提言（国保新聞）

目次
看護職の賃上げで「評価料」新設……2面
総合確保基金、人材分が施設分超え…3面
20名超のサ責を一斉に正職員化……6面
東日本に1日10万食の新工場完成…7面

シルバー新報

発行所：環境新聞社 東京都新宿区四谷3-1-3(第一富澤ビル) 電話03(3359)5372
大阪市中央区久太郎町3-1-15(メリウスビル) 電話06(6252)5895

介護の文化を創る専門紙
年間購読料 23,100 円（税込）



NCCU 2022年度結果意識調査統合版

36
「いい」割合の方が高い。
「考へる」内容としては、月給制では「資格等に関する技能や知識の向上」が最も多く、「介護とは間違ない仕事への転職」、「介護関連の別会社への転職」が各33・5%、「介職に昇進するための勉強やプラン設計」が32%、「介護の順だった」と答えた職種(月給制)は「介護とは間違ない仕事への転職」と回答した職種(月給制)

△日清医療食品が竣工した東日本リニアを方バーする最大規模の生産施設「ヘルスケアードファクトリー関西の取材時(本紙7面)。ほぼ手一関で自動化された現場で食材がわざわざ見である記者は「人間が持ち上げたほうが早いのではないか」と不思議がついたマーティングケアに抵抗を示す人も、同じことを由に挙げる場合が多い。だが、そこには生産性の上に対する根本的な誤解がある。ロボットやテクノロジーを活用するのは、人を減らすためではなく、「人を大事にするため」だ。その場の作業スピードで人力に勝っても、安心安全に働くことができない職場には足りない「あるヘルペス」がない。リフトやスライディングシートを使えるから産業に入るまで変わらず勤務できたと喜んでいた。

遊歩道

【低賃金】仕事量多い」最多

介護業界で働く約8万7千人が加入する労働組合「U.Aゼンゼン」日本本部は、クラフトユニオン(NCCU)は10日、被雇員を対象とした「2009年年度就業意識実態調査」の結果を発表した。働く者の不満があると回答したのは月給制組合員では57%、時給制では57%で、前年度調査より5・7・3・5ポイント上昇していた。不満の内容としては「賃金が安い」「仕事量が多い」「何年経っても賃金が上がらない」が上位を占めた。

(3面に連絡記事)

【低賃金】仕事量多い【最多】

働く上での不満、「ある」75%

NCCU 調查

介護事業の一番身近なパートナー！

介護保険と障がい者福祉の全30サービス種類以上の請求と記録アプリ連携にも対応！

介護も障がいも、これ1つ。

クラウド対応

請求と記録を一気通貫

LIFE 完全対応

イチ押し情報！

- ✓ 令和4年度**診療報酬**改定対応！
- ✓ 「**Chromebook**」をサポート！
- ✓ タブレットの**PDF帳票**出力！
- ✓ LIFE 対象の**全16加算**に対応！

**サポセン
応答率
98%**

**導入事業所
5,800
以上！**

～無料体験版はこちらから！～

**介舟ファミリーの大好評！
スーパーサポートサービス**

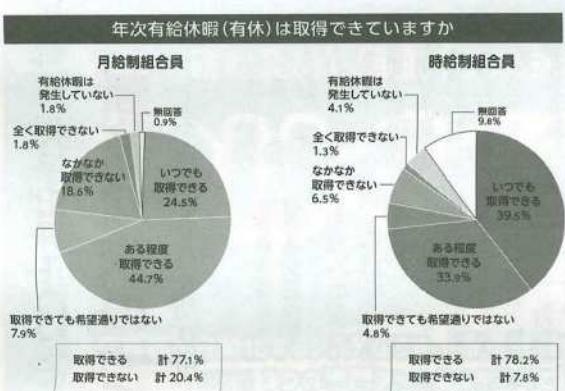
助かつ太

**ソフト導入時のしっかり立ち上げサポート
遠隔操作での密着サポート
オリジナルセミナーによる情報サポート**

株式会社 日本コンピュータコンサルタント

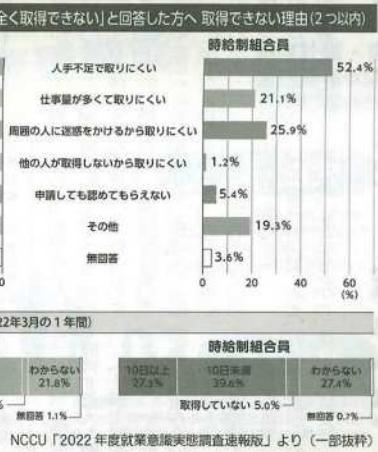


オリジナルセミナーによる情報サポート

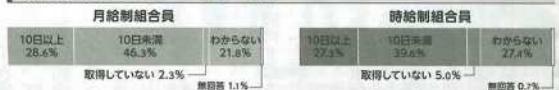


NCCU就業意識
実態調査
(上面の続き)

有休取得、コロナや人手不足で悪化



取得した日数(2021年4月~2022年3月の1年間)



NCCU「2022年度就業意識実態調査速報版」より(一部抜粋)

「UAゼンセン日本介護クラフトユニオン(NCCU)」が10日に公表した「2022年度就業意識実態調査」では、年次休暇の取得状況についても尋ねた。有休が取得できているかについては、月給制では、「全く取得できない」を含む「全く取得できない」、「なかなか取得できない」を合わせると20・4%で、前年調査時より1・4ポイント増。時給制組合員も7・8%で、7ポイント増と、取得状況が悪化していた。取得できない理由として多く挙がったのは「人手不足で取りにくい」(月給制67・3%)、時給制52・4%、「仕事量が多くて取りにくい」(同43・ターキー(9・2日)だった。

総合確保基金 人材分が施設分上回る

21年度交付状況 コロナやICT事業影響

厚生労働省は、都道府県に設置している「地域医療介護総合確保基金」の執行状況を、7月29日に開催した「医療介護総合確保促進会議」に報告した。2021年度の介護分の交付額(公費)は823億円で、うち施設整備分は400億円、介護従事者確保分は422億円。21年度は、介護從事者確保分の交付額が施設整備分を上回った。厚労省は、21年度から新規事業で「コロナ禍における介護サービス事業所のサービス提供体制確保

が影響した」と説明した。

都道府県別に基準額

を見ると、施設整備分で

ト・ICT導入支援事業の計が大きかったこと

が影響したと説明した。

業が加わり、介護人口

が加えられるよう、原

付総額は5112億円、執行総額は3443億円、全体の執行率は

67・4%。交付総額のうち、介護施設整備分は4

332億円、介護従事者

確保分は780億円。從

事者分は8割超で執行され、施設整備率は6割強と高かった。

月に行われた政府の行政評議会で、病床再編のための補助金に活用する医療セセスで、病床再編のための整備事業の執行率が

0・15年度から20年度の一

低く、これが指摘され、「事

業全体の抜本的改善」と

評議された。従事者の

執行率は高かったため

設けた。8月31日まで応

募を受け付けている。

この賞は樋口氏の誕生日

事務長で評議家の樋口氏(90)の卒寿を記念し、「樋口恵子賞」を創設した。

この賞は樋口氏の誕生日

毎年、同ホーリーバージ

から申請書をダウンロードし、同会へ郵送する。

12月中旬に新聞雑誌な

い個人・団体を表彰す

る年齢、性別は不問

題は個人2人迄各30

万円、1団体に50万円。

原

の事業間での流用を、施設整備と従事者確保の事業間での流用を、業界の抜本的改善と評議された。従事者の執行率は高かったため、介護施設整備分は46・4%。交付総額のうち、介護施設整備分は43・2億円、介護従事者確保分は8780億円。從事者分では東京都5億円、北海道35・5億円、大阪府34・1億円の一方で、新潟県、富山県、岡山県など5府県はゼロ。従事者分では、東京都59億円、北海道28・4億円などに対し、複数あり、都道府県間のばらつきが大きい。

介護分が創設された2会で、東京都が8割超で執行されているのに対し、施設整備率は6割強と低かった。

基金については今年6月に行われた政府の行政評議会で、病床再編のための整備事業の執行率が

「樋口恵子賞」創設会の後援問題などに取り組むNPO法人「高齢者の自立に向けた社会をよくする女性の会」(新宿区)はこのほど

募りを目標とする企画見守りサービス、高齢者のつじの場つり、見守りサービス、高齢者のICU活用支援などを

企画例の同会打ち入りシンボジウム会場で表彰式を行つ。同会は、同ホーリーバージから申請書をダウンロードし、同会へ郵送する。12月中旬に新聞雑誌などメディアで発表。年会(新宿区)はこのほど

の到来を目標とする企画募りを受け付けています。この賞は樋口氏の誕生日(9月9日)に由来する企画見守りサービス、高齢者のつじの場つり、見守りサービス、高齢者のICU活用支援などを

企画例の同会打ち入りシンボジウム会場で表彰式を行つ。同会は、同ホーリーバージから申請書をダウンロードし、同会へ郵送する。12月中旬に新聞雑誌などメディアで発表。年会(新宿区)はこのほど



どこでも読める。
いつでも読める。

シルバー新報電子版をお申込みください

富士山マガジンサービスからお申し込み下さい

●年間購読料 23,100円(税込) / 1部売り660円(税込) 毎週金曜日発行

お問い合わせは…

環境新聞社 シルバー新報 販売部 TEL.0120-1972-65 〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-3 第1富澤ビル

富士山マガジン シルバー新報 検索



富士山マガジンQRコード

10月から「医療費2割負担」団塊世代また狙い撃ち！75歳以上の対象者はどんな人？

8/26(金) 9:06 配信 672  

日刊ゲンダイ DIGITAL



反対の声は根強い (C) 日刊ゲンダイ

10月1日から75歳以上で一定以上の所得のある人は、医療費の窓口負担が2割にアップする。もうすぐその負担割合が記載された保険証が送られてくるが、日本医師会など反対の声は根強い。高齢者を狙い撃ちした今回の負担増に対し、どういった対策をとればいいのか。

【写真】がん大国・日本ようやく本腰「緩和ケア」とは何なのか…“放射線＆神経ブロック”で痛みにサヨナラ



この時期にさすがにこれはない。日本銀行が発表した7月の「国内企業物価指数」は前年同月比8.6%の上昇、これで17カ月連続で前の月を上回った。さらに政府は新型コロナの「5類相当」への移行を検討中。約2万円のPCR検査（2割負担で4000円）、約5000円のワクチン接種（2割負担で1000円）で自己負担が生まれる可能性がある。

現在、75歳以上の人々の医療費の窓口負担は、原則1割のみ。ただし、2018年からは単身世帯で年収383万円以上、複数世帯で年収520万円以上だと「現役並みの所得」とみなされ、3割負担となっている。

■ 単身世帯なら年収200万円以上で該当

10月から新たに2割負担が追加され、単身で年収200万円以上（かつ課税所得28万円以上）、複数で年収320万円以上で当てはまってしまう。該当する被保険者は全体の2割ほど、約370万人だ。

「令和3年の所得をもとに8月下旬には負担割合の判定を行います。新たな被保険者証がお手元に届くのは9月下旬を予定しております」（台東区国民健康保険課後期高齢者医療係）

「受診控え」で医療財政圧迫の恐れ



後期高齢者(75歳以上)の医療費窓口負担	
負担割合	年収
3割	(単身世帯)383万円以上 (複数世帯)520万円以上
2割	(単身世帯)200万円以上383万円未満 (複数世帯)320万円以上520万円未満
1割	(単身世帯)200万円未満 (複数世帯)320万円未満

月収で16.6万円を超える単身世帯は2割負担 (C) 日刊ゲンダイ

多くの高齢者は貯蓄を切り崩し、ムダを切り詰めて生活している。体の不調を押してアルバイトしている人もいるし、なのに月収で16.6万円を超えると、一人暮らしなら2割負担なのだ。もちろん、病院に行かない人も後期高齢者医療保険料はしっかり徴収されている。年を取ってこれほどの仕打ちはあろうか。

「政府は10月から2025年までの3年間、外来医療の負担増加額の上限が1カ月当たり最大3000円となる配慮措置を設けていますが、措置があっても負担アップは甚大です。

試算では、1人当たりの窓口負担は、外来医療費が年間2.2万円増（4.7万円→6.9万円）、入院医療費は年間4000円増（3.6万円→4万円）が見込まれています」（東京保険医協会関係者）

本来は病院に行くべきところ、数千円の負担を嫌って「受診控え」が起きる可能性があるというのだ。それで大病につながってしまえば、結局は日本の医療財政を圧迫することになる。

月3000円の配慮措置とは、負担増加額が3000円を超えた場合、同月内の受診が1割負担になること。

「同一の医療機関での受診については、3000円を超えた部分の窓口負担は1割になります。ただし、複数の医療機関にかかった場合は、いったん窓口で2割負担していただき、後日、あらかじめ登録されている金融機関の口座に払い戻す形になります」（前出の台東区担当者）

国は今回の2割負担について「現役世代の負担を抑え、国民皆保険を未来につないでいくため」と説明している。では果たしてそうか？

日本医師会によると、国民保健サービス（NHS）があるイギリスは、医療費財源の9割を税金で占め、公的医療機関への国民の支払いは原則無料。ドイツも9割が税金で自己負担ゼロ。保有する保険の種類によって負担割合が異なるアメリカはむしろ少数派で、日本の税負担はむしろ低いとしている。そもそも消費税の増税分はこの部分に使うはずだったものだ。

だからこそ、今も日本医師会をはじめ、佐賀県議会や新潟県議会などがこぞって反対している。百歩譲って75歳未満の人たちに負担増をお願いするのはわかるとしても、75歳以上の後期高齢者からもお金を搾り取るとは、一体どんな国なのか。

配慮措置が切れる2025年は団塊の世代が全員75歳以上になる年。まさしく最初に狙い撃ちされているのがこの世代なのだ。

ムダを削る5つの対策



医療費のムダはないか (C) 日刊ゲンダイ

悔しいが、医療費のムダを削るしかない。どんな対策があるのか。

①かかりつけ医をつくって転々としない

風邪など日常的によくかかる病気のときは、「かかりつけ医」を受診するようにしたい。初診料が2880円なのに對し、再診料は730円だからだ。このうち窓口負担は1~3割となるが、2割負担なら430円の節約となり、1割負担のままでも220円安くなる。「すいてたから」「用事のついでだから」といった理由で病院を転々とするのはなるべく避けたい。また、かかりつけ医に紹介状を書いてもらうと、大病院にかかる際の特別料金も必要なくなる。

②時間外受診はなるべく控える

初診料・再診料には「時間外加算」というものもある。平日なら、おおむね8時前と18時以降。土曜日は8時前と12時以降だ。時間外加算は初診で850円、再診で650円となつており、2割負担なら170円と130円がムダな出費になる。

③突発的な病気やケガ以外は休日受診を避ける

日曜日や祝日は初診2500円、再診1900円と加算額が余計に大きくなる。2割負担なら500円と380円の負担増だ。旅先のケガなどでやむを得ず休日診療を受けるケースもあるが、今後はより注意が必要だ。

④ジェネリック医薬品を利用する

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品の特許が切れた後、新たに製造販売される医薬品。先発医薬品と同等の効能効果を持つもので、厚生労働省の認可も受けているので安心して服用できる。費用が先発医薬品よりも安価なのが特徴で、例えば解熱鎮痛剤のロキソニン錠60ミリグラムが1日3回、1週間分で約260円なのに対し、ジェネリックなら約170～210円になる。

⑤お薬手帳を絶対に忘れない

薬局でお薬を出してもらう際の注意だ。今年度の調剤報酬改定で同じ薬局に3カ月以内再度処方箋を持っていった場合の料金は450円。これに対し、はじめて行く薬局やお薬手帳を忘れた場合は590円となる。やはり2割負担なら30円も高くなってしまう。4月からシールで代用できるようになって負担が軽減されている薬局もあるが、お薬手帳をよく忘れるという人は気をつけたい。最近はスマートフォンアプリの電子版お薬手帳を導入する薬局も増えているので、積極的に活用したいところだ。

「全数把握」見直し、4県が先行 届け出、高齢者らに限定運用

2022/08/29



新型コロナ感染者・届け出の扱い

限定する(4県)

宮城、茨城、鳥取、佐賀

限定する方向(6県)

青森、群馬、山梨、岡山、福岡、鹿児島

限定しない・限定しない方向 (9都県)

秋田、埼玉、東京、神奈川、和歌山、
島根、香川、大分、沖縄

検討中(26道府県)

北海道、岩手、山形、福島、栃木、
千葉、新潟、富山、福井、長野、岐阜、
静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、
奈良、広島、山口、徳島、愛媛、高知、
長崎、熊本、宮崎

※石川、兵庫は照会中

新型コロナ感染者・届け出の扱い

新型コロナウイルス感染者全員の個人情報を含めて発生を届け出る「全数把握」を巡り宮城、茨城、鳥取、佐賀の4県が、対象を高齢者らリスクの高い患者に限定する運用に見直すことが29日、共同通信の調査で分かった。国は9月2日から適用する方向で最終調整している。感染者数の集計は続ける。

調査は各都道府県の担当者に実施。青森、群馬、山梨、岡山、福岡、鹿児島の6県は、届け出を「限定する方向」と回答した。逆に「限定しない・しない方向」としたのが秋田、埼玉、東京、神奈川、愛知、和歌山、島根、大分、沖縄の9都県。最も多い回答は「検討中」で28道府県だった。

© 一般社団法人 共同通信社

関連記事

- コロナ全数届け出見直し、4県が先行
- 十両朝乃若がコロナ感染
- 愛知、全数把握を継続へ
- 首相、全国一律見直しへ環境整備
- 埼玉は全数把握を継続

@kyodo_officialさんのツイート

共同通信公式 @kyodo_offic... · 40秒
首相が旧統一教会調査念頭に徹底対応要請
nordot.app/93969440666597...

22年上半期の出生数38万人 初めて40万人を下回り過去最少

8/30(火) 15:29 配信 1928  



厚生労働省が30日公表した人口動態統計（速報値）によると、2022年上半期（1～6月）の出生数は、前年同期と比べて5・0%少ない38万4942人だった。上半期の速報値では、00年以降最も少なく、初めて40万人を下回った。新型コロナウイルスの影響による「産み控え」が指摘されており、感染長期化が少子化に拍車をかけた可能性がある。

新生児の健康状態を確認する医師＝
福島県いわき市で2020年12月26
日、佐々木順一撮影

速報値によると、22年上半期の出生数は、前年同期比で微増だった1月を除き、2～6月の5カ月はいずれも前年を下回った。これまで最少だった21年上半期（40万5029人）より2万87人減で、少子化が加速した結果になった。

一方で、22年上半期の婚姻数は微増し、前年同期比243組増の26万5593組だった。

死亡者数は、20年は新型コロナの感染予防意識の広がりに伴いインフルエンザが減少したことなどを背景に、11年ぶりに減った。だが21年は再び増加し、22年上半期の死亡者数は前年同期比4万8269人増の77万7213人だった。

速報値は、日本在住の外国人や在外日本人の数が含まれている。今後公表される概数や確定値は、日本に住む日本人の数で集計するため、速報値よりも少なくなる可能性がある。

今年6月に公表された21年の出生数は、1899年の統計開始以降、過去最少の81万1604人で、前年より2万9231人減った。1人の女性が生涯に産む子どもの数に相当する合計特殊出生率は1・30だった。22年の1年間を通じた出生数は過去最少を更新する可能性がある。

国立社会保障・人口問題研究所が17年に公表している人口の将来推計（中位シナリオ）では、21年時点の出生率は1・40で出生数は86万9000人だったが、想定を上回るスピードで少子化が進行している。

出生率は05年に過去最低の1・26まで落ち込んだ後、団塊ジュニア世代（1971～74年生まれ）が出産適齢期に入ったことなどを背景に、15年に1・45まで持ち直した。だが16年以降、未婚化や晩婚化に加え、育児と仕事の両立の難しさが社会問題化する中で、再び低下基調となっている。

政府は、23年4月に発足することも家庭庁を中心として少子化対策に当たることにしており、新たな対策の一つとして、出産時に原則42万円支払われる出産育児一時金を23年度にも増額することを検討している。【小鍛治孝志】

人の賛成で可決されました。

議では弁明の機会がなく不公平だと訴えました。宮尾耕一弁護士

青木香芝市議に出席停止処分

不当懲罰 差し止め提訴

市議

奈良地裁

奈良県香芝（かし）市議
(日本共産党、一期目)
は24日、市議会の懲罰
特別委員会での出席停
止処分に対し、処分差
し止めを求め奈良地裁
に提訴しました。

同時に、の日も



市議会本会議での議決
を阻止するため、仮差
し止めを求める申し立て
を行いました。本会
議で可決されるが、青
木市議は直ちに同日か
ら8日間の議会出席停
止となります。

昨年12月14日の福祉
教育委員会で、川田裕
市議会議長が国民健康
保険や生活保護窓口へ
の議員同行行為は禁じ
られている趣旨の発言
をしました。これに対
し青木市議が「政治倫
理条例の何条にあるの
か」などと意見したこ
とが、「侮辱または名
誉毀損（きそん）にあ
たる恐れがある」と懲
罰の対象にされまし
た。今年2月以降、懲
罰として議場での陳謝
文の朗読が強要され、
青木市議が拒否するこ
とが繰り返されまし
た。これを理由に6
月、出席停止の懲罰動
議があり、今月18日の
懲罰特別委員会で5人中3

見し、「困窮している
人に寄り添う活動は議
員として当たり前。懲
罰は議会中継の録画を
みてください。到底、
懲罰の理由にならな
い」と話しました。

罰委は秘密会で、本会
議では弁明の機会がな
く不公平だと訴えま
した。宮尾耕一弁護士
は「議会中継の録画を
みてください。到底、
懲罰の理由にならな
い」と話しました。

22.9.3 まいり

奈良・香芝 党市議への懲罰問題

地裁 仮差し止め認めると見する



会見する（右から）青木、
宮尾の両氏＝2日、奈良市

奈良県香芝（かし）市議会の懲罰特別委員会（8月19日）が日本共産党的青木恒子市議に8日間の出席停止処分を決めた問題で、奈良地裁（寺本佳子裁判長）は1日、青木氏が違法な処分だとして同24日求めた仮差し止めを認める決定を出しました。

青木氏は2日、弁護団とともに奈良市で記念会見し、「主張が認められるものではない」とする画期的な決定。司法の役割を果たした」と意義を強調しました。

青木氏は「裁判所は希望」と弁護団に感謝を述べました。青木恒子は「あまりにも皆さんに議会運営に対し『多く派なん』何でも決められることでない」と訴えました。青木氏は「裁判所の勇気ある判断を市議会が尊重することを強く望みます」と訴えました。5日の本会議の運営が注目されます。

青木氏への懲罰処分を決めた懲罰委の議決は、5日の本会議で審理される予定。裁判所は本会議で可決されれば、原告が後で償うことのできない損害をいかないのか納得できなかつた。議会で陳謝文を強要されるなども堪えられなかつた。今回の一回の決定を受け、「憲法は希望」と弁護団に感謝を述べました。

青木氏は「裁判所の勇気ある判断を市議会が尊重することを強く望みます」と訴えました。5日の本会議の運営が注目されます。

奈良県香芝市議会9月本会議初日（9月5日）の傍聴報告と

とりあえずのお礼

2022年 9月 5日

奈良県生活と健康を守る会連合会

事務局長 飯尾大彦

TEL 090-3846-8213

Email : hiko1213@nike.eonet.ne.jp

この度は緊急の協力要請に対して皆様には大きなお力をいただきました。改めて厚く御礼を申し上げます。

本日（9月5日）奈良県香芝市議会本会議が開催されました。当初は午前9時開会の予定でしたが30分遅れの開会となりました。本会議開会前に急遽、議会運営委員会が開かれていたようです。本会議開会後、議会運営委員長より、懲罰特別委員長から青木恒子議員に対する懲罰議案取り下げの申し出があったため、同議案の審議はしないとの報告があり、本会議では複数の議員や青木恒子議員本人からも取り下げの理由について質問が出されました。議会運営委員長は「懲罰特別委員会から議案取り下げの申し出があったから」としか答えられないとの回答であった。取材をしていた一部メディアは、「奈良地裁が9月1日付で議会に対し、同議員の出席停止処分を行わないよう仮の差し止めを決定したことが影響したものとみられる」と論じています。また、懲罰特別委員会の「中谷委員長は報道陣の取材に対し、今、言えるのは初日に報告することを取り下げたということだけだ、と述べるにとどまった。地裁の決定後、委員会は開いていないといい、定例会会期中に開きたいとした」と論じています。

この後の本会議は青木恒子議員も通常通り参加し、審議が進められました。

この度の私どもからの緊急の支援・協力要請に対しいち早くご対応いただき誠に心強く感じております。またたく間に全国に広げていただきました。仮の差し止め決定に対する弁護団の取り組みや仮の決定が出た後の弁護団からの各市議に対する通知などが大きな力を出したということだと思いますが、全国からの抗議の取り組みは（現段階では支援の全貌はまだつかめてはおりませんが）当事者をはじめ地元の支援者には大きな力となり、3日に現地で開催された「懲罰を許さない集会」は熱気あふれるものとなりました。とりあえず第一弾のお礼を述べさせていただきます。

今後は奈良地裁での本訴の闘いや、一旦は取り下げられた懲罰議案の行く末、近々開催される懲罰特別委員会の模様、議会からの大阪高裁への抗告など、まだまだ注視していく必要が残されていると考えています。引き続きご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

最後に再度、この度のご支援・ご協力、地元には大きな力を育てていただきました。重ねて御礼を申し上げます。

2022.9.4

党市議への懲罰許すな

奈良・香芝 緊急集会に熱気

奈良県の日本共産党
香芝（かしば）市委員
会は3日、同市で青木
恒子党市議への出席停
止処分の懲罰を許すな
と緊急の集会を開き、
市民111人が参
加。立ち見が出るほど
熱気に包まれました。

党議員団長の中井政
友市議が報告。青木議
員が生活保護申請をす
る市民に付き添って市
の窓口を訪れたところを
めぐり、昨年12月以来

降、青木氏が懲罰の陳
謝文朗読を拒否するなど
その後も3度、懲罰動
議が繰り返され、つい
には出席停止まで出せ
られるなど異常な議会運
営を告発。「懲罰委は
秘密裏にされ続行、市
民に対し議会の議論が
聞えられ続けた」と批
判しました。

青木氏は、自身への

懲罰は違法だと8月24
日と奈良地裁に提訴

し、1日が仮差し止め

令=3日、審査中



今井光子県議らが連
帯あいさつ。他党派の
県議、市議が連帯のメ
ッセージを寄せまし
ました。

立見が出た緊急集
会=3日、香芝市

が認められたことを報
告。「陳謝文は自分の
心とは違う内容があ
るなど異常な議会運

営を告発。「懲罰委は
秘密裏にされ続行、市
民に対し議会の議論が
聞えられ続けた」と批
判しました。

ある意味見せしめの
ようになっており、自
由に発言できない審理

の不十分さを正してい
きたい」と決意を語り
ました。

今井光子県議らが連
帯あいさつ。他党派の
県議、市議が連帯のメ
ッセージを寄せまし
ました。

月、市民の切実な要求
にもじつて意見書など
の提案が、審理を長く
さすに否決され悔しい
思いをしてきた。懲罰
員になつて1年5カ

た。弁護団の古川雅朗
弁護士が5日の市議会
にわざわざ意見書などを
提出が、審理を長く
さすに否決され悔しい
思いをしてきた。懲罰

月、市民の切実な要求
にもじつて意見書など
の提案が、審理を長く
さすに否決され悔しい
思いをしてきた。懲罰
員になつて1年5カ
月、市民の切実な要求
にもじつて意見書などを
提出が、審理を長く
さすに否決され悔しい
思いをしてきた。懲罰
員になつて1年5カ

た。

た。弁護団の古川雅朗
弁護士が5日の市議会
にわざわざ意見書などを
提出が、審理を長く
さすに否決され悔しい
思いをしてきた。懲罰
員になつて1年5カ

国保の国庫負担減額措置は全廃を

支給交付金について「銀行実績が低調」ないし、「予算額を求める。保険者努力支援交付金の実施され、翌年度予算見直しや執行の効率化を主張。財務省は「一定の見直しは不可能」との認識を示している。1年80万円超の高額な医療費に対する高額医療費負担金についても見直しや執行の効率化を主張。財務省は「制度を所管する厚生省と協議し、来年度予算からの反映をめざしたい考えた。年末までの予算編成過程で検討する。」



全国知事会議は子育て支援策の一環として、地方単独事業による子ども医療助成をした場合の国保の減額調整措置の全廃を求めた

【5年度国保の施設並びに予算に関する提案・要望】(国保制度関係の要旨)

○国保制度については、平成27年1月13日社会保険制度改革推進本部決定により確約した財政支援について、今後も国の責任において確実に実施すること

○国保制度の抱える構造的な課題を解消するためには、普通調整交付金が担う自治体間の所持調整機能は大変重要であることから、今後もその機能を引き継ぎ維持すること

○保険者努力支援制度を抜本的に強化するために2年度から設けられた「保険者努力支援交付金(事業費分・事業費運動分)」については、その使途を国保に限定せず、結果として地方の医療費適正化に資する予防・健康づくり事業全般について、人件費を含めた体制整備等の取組に活用可能とするなど、地方の実情に沿った使い勝手の良い制度となるよう地方と協議を行うこと

○国保制度の取り組み強化として、法定外線等の解消や保険料水準の統一など法改正を含めた対応が進んでいるが、地方の実情に応じた取り組みを阻害することがないよう地方の意見を尊重し、引き続き地方と協議を行っていくこと

○全ての医療保険制度の全国レベルでの一元化に向けた具体的な道筋を提示すること

○都道府県のガバナンス強化として、「生活保護受給者の国保等への加入」や「後期高齢者医療制度の都道府県移管」を検討する動きがあるが、都道府県と市町村が一体とならず、平成30年度国保制度改革後の国保財政運営の安定化に努めており、拙速な論議は地方や国民を混乱させ、ひいては社会保障制度の危機を招くこととなるため、謹慎にあたっては制度の課題や運営状況の分析を行い、慎重な議論を行なうこと

○国保連が運用する国保総合システムについて、国は社会保険診療報酬支払基金の審査支払業務との「整合的かつ効率的な運用」実現のための更改を求めており、当該目的達成には通常の更改に比べ費用のかかり増しが生じる。国保は被用者保険に比べ財政基盤が弱いこと、さらには新型コロナウイルス感染症の感染拡大により被保険者の所得にも影響が出ていること等を踏まえ、更改やその後の適用に係る費用について、審査支払手続等の引き上げなどにより、最終的に保険料(税)へ転嫁されることを回避するため、引き続き十分な財政支援を行うこと

【将来世代が希望をかなえられる社会を目指す提言】(関連部分を抜粋)

○子どもを持つ世帯(特に多子世帯)に有利な税制、保険・年金制度等を充実すること

○出産育児一時金の額の引き上げによる、出産費用負担への支援の強化を図ること

○子どもの医療に関する全国一律の医療費助成制度の創設や、小学生以上の子どもの医療費助成に係る国保の国庫負担減額調整措置の全廃、国保の子どもに係る均等割保険料軽減措置対象年齢の拡大及び軽減額の拡充を図ること

補助する地方理賃業者を
選ぶべきかなど、患者負担が
増えていく問題などを
議論している。

医療費の一部負担金を
支拂った。

「ペナルティ」との指摘も

全国知事会議が2月28、29日の両日、奈良市で開催された。対面での開
催は2年ぶりとなる。29日の会議で、各都道府県とも大きな課題となって
いる子育て支援策が議論として取り上げられ、地方自治体が独自に子ども
の医療費助成をした場合、国保の国庫負担が減額される調整措置について
の全廃を提議して盛り込んだ。福田喜一都道府県知事は、「子ども
真ん中の本」を掲げ、来年4月に子ども医療費を報告することに触れたう
えで、「あわせて国保の国庫負担減額措置、いわゆる「ペナルティ」の廃
止を求めていいのを提案したい」と述べた。

全国知事会議が2月28、29日の両日、奈良市で開催された。対面での開
催は2年ぶりとなる。29日の会議で、各都道府県とも大きな課題となって
いる子育て支援策が議論として取り上げられ、地方自治体が独自に子ども
の医療費助成をした場合、国保の国庫負担が減額される調整措置について
の全廃を提議して盛り込んだ。福田喜一都道府県知事は、「子ども
真ん中の本」を掲げ、来年4月に子ども医療費を報告することに触れたう
えで、「あわせて国保の国庫負担減額措置、いわゆる「ペナルティ」の廃
止を求めていいのを提案したい」と述べた。

子ども医療費助成で 子ども医療費助成で

全国知事会議が2月28、29日の両日、奈良市で開催された。対面での開
催は2年ぶりとなる。29日の会議で、各都道府県とも大きな課題となって
いる子育て支援策が議論として取り上げられ、地方自治体が独自に子ども
の医療費助成をした場合、国保の国庫負担が減額される調整措置について
の全廃を提議して盛り込んだ。福田喜一都道府県知事は、「子ども
真ん中の本」を掲げ、来年4月に子ども医療費を報告することに触れたう
えで、「あわせて国保の国庫負担減額措置、いわゆる「ペナルティ」の廃
止を求めていいのを提案したい」と述べた。

予算執行監査は毎年度
実施され、翌年度予算の
見直しや執行の効率化を
目指して行われておる。4年
は、健保ひき取り収納対
応が充てられておる。

高額医療負担金も削減を 保険料統一で廃止を

位の前提として合意し
位の公費340億円の
投入された平成30年度以
降は各都道府県が都道府県
の財源が含まれ
れておる。

2年度からは官民主導
で500億円が追加投入
された。都道府県と市町
村が充てられておる。

田と事業費運動分
(300億円)がある。
財務省の実績による
と、事業費が2年度の
執行額が85億円、3年度の
執行額が1121億円
でそれそれ115億円、
79億円が残されてお
る。かつては新規プロジェクト
の影響を受けたとはい
え、予算の半分程度の執
行にとどまつてあり、過
大な予算計上となつて
いた。

（今後の改善点・検討の方向性）

◆保険者努力支援交付金

○保険者が果たすべき重要な機能は医療費適正化である。平成27年改正法附帯決議でも、本事業の実施に当たって、「医療費適正化に向けた取組等が推進されるべき」としている。しかし、現状、適正化効果の乏しい被保険者の健康の保持増進に偏重した事業内容となっている

○事業費分について、健康の保持増進に軸足を置いた現在のヘルスアップ事業のメニューを抜本的に見直し、医療の効率的な提供に向けた取り組みが大幅に入れ替えるとともに、事業の実施に当たっては費用対効果の観点から実施の可否を国が判断する仕組みとするべきだ。実施事業内容の厳格化や足もととの低調な執行実績等を踏まえ、事業費分の予算を縮減するとともに、事業費運動分も当初想定していた事業費分の1.2倍となるよう縮減すべきだ。また、都道府県ごとに事業費分に対する割合で事業費運動分の上限を設けるなど、その仕組みを見直すべきである

○取組評価分についても、健康の保持増進に偏重した評価分となっている。評価項目の数も膨大であり、大半の自治体で水準達成となっている形骸化した評価項目も多い。全体として評価項目の縮減で簡素化を図るとともに、その予算額も圧縮を図るべきだ。その上で、リフィル処方箋の普及、定着に向けた取り組みなど医療費適正化に効果のある医療の効率的な提供の評価項目を加え、点数配分も重点化する見直しを行なうべきである

◆高額医療費負担金

○高額医療費負担金については、現行法に規定された国保医療費負担金に占める高額医療費負担割合の割合の増加や都道府県化による国保財政の安定化を踏まえ、平成18年度の割合を大きく下回るよう、対象となるセグメントの金額基準の引き上げを速やかに実施し、予算規模を大幅に縮減すべきである

○現在、取り組みを進めている保険料水準の統一により、高額医療費による影響は完全に取り除かれることとなる。達成時期を区切るなど、統一に向けた取り組みを加速化すべきだが、依然統一されていない都道府県においても、納付金の算定に当たって3年平均の医療費が使用されていることや、高額医療費の共同負担を可能としていることなどから、高額医療費による影響を最小限に抑えることができる

○高額医療費負担金が果たす機能は現時点において最も頑丈で堅定的であり、いずれその役割を終えることは明らかである。既に見込まれるため、廃止に向けた道筋を工程化すべきである

公的病院の出産費用

15.9万円 9年度